

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス小祿教室		
○保護者評価実施期間	令和 8年 3月 1日		～ 令和 8年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和 8年 3月 1日		～ 令和 8年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士や児童指導員、運動療育指導員、作業療法士等の専門職を配置し、多面的な視点から支援体制の充実を図っています。	・配慮が必要な児童について定期的な検討の場を設け、専門的視点を取り入れながら支援の質の向上に努めています。	・定期的な検討会の継続に加え、外部研修等の機会を設ける等の取り組みも行うことで専門性の向上を図っていきます。
2	・職員間のコミュニケーションを大切にし、日常的な情報共有を通して風通しの良い職場環境づくりに努めています。	・毎日の朝、昼、夕方のミーティングを活用した情報共有に加え、管理者との個別の面談を通して職員の意見を把握する機会を設けています。	・職員が意見や考えを出しやすい環境づくりを継続し、より良い組織運営を目指します。
3	・保護者交流会や療育参観の機会を設け、児童支援に加えて保護者支援にも取り組んでいます。	・透明性のある運営を心掛け、安心してお子さんを通わせることのできる環境づくりに取り組んでいます。	・これまでの保護者支援に加え、きょうだい児等との交流についても機会を設けられるよう体制を整えていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の学校や保育施設との交流の機会について、十分とは言えない面があると考えています。	・事業所の取り組み内容について、関係機関への周知が十分でない部分があると考えられます。	・モニタリングや担当者会議を活用し、関係機関との連携強化や交流の場を設けられるよう取り組んでいます。
2	・緊急時の対応に関する説明について、保護者への情報共有と職員への周知が不足している部分があると考えています。	・マニュアルの整備はされていますが、内容を共有・確認する機会が不足していることが要因として考えられます。	・資料配布や連絡ツールの活用により、非常時対応の周知を進め、避難訓練等を通して理解促進を図ります。
3	・事業所で実施している支援内容や取り組みについて、保護者や関係機関への発信が十分とは言えない部分があると考えています。	・日々の支援についての内容や意図をわかりやすく伝える機会や方法が限られていることが要因と考えられます。	・写真や連絡ツール等を活用した情報発信を進めるとともに、面談や連絡の機会を通して支援内容の共有を図っていきます。